

令和 7 年度 鳥羽志摩中学生新人大会

実施要項

主 催 : 鳥羽志摩中学校体育連盟

後 援 : 鳥羽市教育委員会 志摩市教育委員会

期 日 : 令和 7 年 9 月 2 0 日 (土) ~ 1 0 月 5 日 (日)

競 技	期 日	開 催 会 場
野 球	9 月 2 1 日 (日)	長沢球場
	9 月 2 7 日 (土)	磯部ふれあい公園
サッカー	9 月 2 1 日 (日)	鳥羽東中学校グラウンド
女子バレーボール	9 月 2 7 日 (土)	鳥羽市民体育館
バスケットボール	9 月 2 1 日 (日)	鳥羽市民体育館
男子ソフトテニス	9 月 2 0 日 (土)	阿児ふるさと公園
女子ソフトテニス	9 月 2 0 日 (土)	阿児ふるさと公園
	9 月 2 1 日 (日)	
男子卓球	9 月 2 1 日 (日)	磯部ふれあい公園
女子卓球	9 月 2 1 日 (日)	文岡中学校体育館
バドミントン	9 月 2 0 日 (土)	鳥羽市民体育館
柔 道	9 月 2 0 日 (土)	鳥羽市武道館
剣 道	9 月 2 0 日 (土)	鳥羽市武道館

1. 趣旨

本大会は、中学校1・2年生に試合経験の場を与え、競技力の向上と主体的な活動を促すことを目的とする。人数不足等の課題が生じて、生徒一人ひとりの活躍の場を最大限に確保することを重視し、合同チーム等の活用を含め、新人大会に限り柔軟な大会運営を推進していく。

2. 大会出場規定

- ① 鳥羽志摩中学校体育連盟に加盟する中学校や地域スポーツ団体等に在籍する中学校1・2年生の生徒とする。
- ② 鳥羽志摩中学校体育連盟の大会で日時が異なっていれば複数競技への参加を認める。

3. 開催、延期の決定について

- ① 降雨等の影響でグラウンドコンディションが不良な場合は、大会を延期、又は中止とする。但し、天候の回復が見込まれる場合は、試合開始時刻を遅らせて大会を開催する。これらの判断は、各専門部で行う。
- ② 鳥羽市定期船が濃霧等の発生で運行できない場合や雷注意報が発表された場合等は、鳥羽志摩中体連本部が協議し、延期、又は中止の判断を行う。
- ③ 熱中症特別警戒アラートが発表された場合は、延期、又は中止とする。

1) 各競技専門部

- ① 大会当日の5時45分までにグラウンド状況等を確認し、大会実施の判断を行う。その後、鳥羽志摩中体連本部へ連絡する。
- ② 大会の延期、順延、又は試合開始時刻変更等の連絡は、大会長、養護教諭、専門部員、出場校、審判員、競技会場等に連絡する。
※順延・延期をした場合、養護担当が代わる可能性がある。
- ③ 濃霧等の影響により、試合開始時刻が変更となった場合は、各専門部で大会実施の判断をする。

2) 鳥羽志摩中体連本部

- ① 各専門部の判断、鳥羽市定期船の運行状況、雷注意報、熱中症アラート等を確認し、6時00分頃に実施・延期の判断を会長・副会長・各校理事・各競技専門部長に連絡する。
※濃霧等の影響により、定期船が通常運航できない場合は、鳥羽市定期船課のホームページに6時30分頃に掲載される。そのため、最大6時30分まで待機する可能性がある。

4. 大会の運営について

(1) 開閉会式（開始式含む）

開会式（開始式）と閉会式での、大会長の挨拶については、大会長と専門部で協議し、挨拶の有無を決定する。また、会場の使用上の注意や避難経路等についても周知しておく。

全校の参加を基本とするが、各校の参加人数については各専門部の判断とする。

閉会式では、成績発表や表彰等を適宜省略し、生徒の帰宅時間（定期船の関係で、鳥羽駅16時30分に着いているように設定する。）が遅くならないように努めること。

(2) 連絡・報告・会計処理（専門部長）

- ① 大会要項を専門部会後5日以内に鳥羽志摩中体連本部へPDFで提出する。

《大会要項に記載する内容》

定期船が欠航になった場合の対応、雷注意報等の対応（避難場所等）、サスペンデッドゲーム（一

時停止試合)、熱中症対策、津波注意報・警報の対応(避難場所等)表彰状の種類や枚数

③ 大会結果【速報】は、大会実施日の17時00分までに鳥羽志摩中体連本部へ提出する。

④ 大会結果【詳細・事故報告】は、大会終了後速やかに鳥羽志摩中体連本部へPDFで提出する。

⑤ 会計報告書を、大会終了後速やかに所属校の理事へ提出する。所属校の理事は、会議等で鳥羽志摩中体連本部(会計担当)に提出する。

※「大会要項」「大会記録(速報)」「大会結果(詳細)」等の提出先

【 toshityutairen00@outlook.jp 】

(3) 優勝旗返還

各競技の前年度優勝校は、優勝旗を当日会場まで持参し、優勝旗返還を開会式(開始式)で行う。

(4) 学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖の対応

各学校長、中体連本部、専門部で協議し、延期等の判断をする。

(5) 表彰

表彰は、団体競技、個人競技ともに3位までとする。ただし、参加校が8校未満の競技は2位までとし、4校未満の競技は1位のみとする。各競技の大会要項に表彰について記載すること。

大会結果は、後日鳥羽志摩中体連のホームページ、新聞等に掲載する。支障のある場合は、鳥羽志摩中体連本部まで事前に連絡をすること。

(6) 緊急時の対応(けが、熱中症等への対応)

大会期間中、生徒の健康状態の把握につとめ、参加者の健康管理の事前指導を必ず行うようにする。急病や大ケガについては、救護担当の手を借りて応急処置を施し、顧問・引率者等が速やかに医療機関へ搬送する。なお、該当校の学校長、家庭への連絡も速やかに行なうこと。

専門部長は、状況報告も含め中体連会長、及び理事長への連絡も必ず行うこと。

※医療機関等については、別紙参照

5. 災害時の対応

地震、津波、台風等の注意報・警報が出された場合は、以下の安全対策に基づいて行動すること。

(1) 大会開始前

- ・在宅中の場合には、自宅にて安全を確保させる。午前6時の段階で発表されている場合は、その日の競技はすべて延期又は中止とする。
- ・会場への途上の場合には、速やかに帰宅する。なお、公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う。

(2) 大会開催中

- ・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか等の状況判断は、各競技の大会本部が行う。
- ・津波注意報又は警報の発表が出された場合は、ただちに競技を中断し、高台へと避難する。生徒の引き渡しについては、地震や津波情報等に基づき、大会本部が判断する。
※津波注意報の場合は、保護者への引き渡しを認める。津波警報の場合は、原則保護者への引き渡しは認めない。

(3) 発表が解除された場合

- ・解除された場合であっても、交通機関、通信手段等の混乱が予想されるため、大会を延期又は中

止する可能性もある。

(4) 報告

- ・専門部委員長は、大会の実施、中止、延期等について必ず中体連事務局に報告を行うこと。

6. 落雷事故防止について

- (1) 落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中断し、危険性が無くなると判断されるまで、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。

※落雷の予兆

雷鳴が聞こえる ・稲光が見える ・急に真っ黒な雲が近づいてくる 等

- (2) 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し、大会を中断するかどうか判断すること。

- (3) 落雷による事故を未然に防ぐために、事前に情報収集しておくこと。

- ・前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）
- ・活動場所と避難場所の位置確認

7. 熱中症対策

- (1) 熱中症は未然に防止できることや、生徒の健康や生命に甚大な影響を与えることを、学校及び指導者が十分に認識した上で指導に当たること。

- (2) 学校及び指導者は、生徒の健康管理を適宜適切に行い、一人一人の状況に応じて必要な対策を個人に講じるとともに、プリント等を活用して生徒・保護者にも繰り返して注意を喚起すること。

- (3) 各専門部に熱中症対策費を支給し、氷やスポーツドリンク等の準備をする。また、各校の顧問は、参加生徒の体調把握に努め、適切な休憩や塩分・水分補給を促すとともに、熱中症対策として必要な物品を準備すること。（経口補水液、体温計等）

- (4) 大会期間中、熱中症が疑われる症状が見られる参加者が発生した場合は、大会長、専門部長、養護教諭、該当校顧問が綿密に連携を取り、参加者の安全を最優先に考えた対応をとること。

- (5) 屋外競技において、日陰がない会場では、テント等の準備をすること。

- (6) 活動場所のWBGT値を定期的に（1時間に1回程度）測定すること。

- (7) 場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行うこと。

- (8) 活動場所のWBGT値が31℃以上の場合は一時的に中断し、延期又は再開する等を検討すること。再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行うこと。その際、選手にとって不利益とならないように十分に注意する。

8. 写真撮影等

校長、教頭、学校代表者が応援や写真撮影で会場を訪れる際は、大会の本部席又は応援エリアとする。また、写真撮影の行う際は、専門部の指示（各競技の要項に記載）に従い、競技の妨げとならないように配慮すること。

9. その他

- (1) 不適切な指導の根絶

- ① 体罰、暴言、セクハラ等について、十分に留意し、適切な指導・対応を行っていくこと。

令和7年度 鳥羽志摩中学生新人大会 申し合わせ事項

1. 生徒の移動（集合等）について

生徒の会場等への移動については、原則、公共交通機関を利用する。

2. 事前指導

大会の成功を願って、壮行会等の場で大会の意義・スポーツマンシップ、応援マナー等の指導を徹底し、規律の確立と意気高揚を図る。

3. 職員の参加

各学校で引率団を形成し、生徒指導に万全を期すること。引率者は単なる付き添いではなく、服装・ゴミ処理・落書き・公共物破損等に細心の注意を払うとともに、生徒の解散まで責任を持つ。
※ 外部コーチは、継続的に指導に関わり学校長の承認したコーチであればベンチ入りが可能である。その際、「外部コーチ確認書」を鳥羽志摩中体連事務局に提出する。

4. 生徒（部員）の服装等

- ① 部員は、ユニフォームまたは体操服、各校で認められた部活の練習着も可とする。更衣室は準備しない。ただし健康管理、保健指導の面で必要のある時は、会場校、会場管理者に申し出て使用の許可をもらう。
- ② 接触プレーの有無に関わらず爪は短くして試合に臨み、また、その他安全上必要と思われる指導を各校で徹底しておく。
- ③ ゲーム機や漫画等の大会に不必要な物の持ち込みは厳禁とする。
- ④ 携帯電話やスマートフォンの使用に関しては、原則各校やチームのルールに従うものとする。

5. 開会式（開始式）・試合等

- ① 各校とも遅れないようにし、引率者も整列し厳粛に行う。
- ② 競技上の注意とともに、生徒指導上の注意も行う。
- ③ ルールに徹し、きびきびとした行動をとらせる。審判は服装にも留意する。

6. 応援・見学

- ① 学校ごとにまとまって行い、鳴り物による応援は禁止する。
- ② 中学生らしく節度ある応援をし、相手のファインプレーもたたえる。
- ③ 応援者、見学者の服装は、体操服・制服とする。ただし、登下校時に限り、各校で認められた部活の練習着も可とする。
- ④ ゲーム機や漫画等の大会に不必要な物の持ち込みは厳禁とする。
- ⑤ 携帯電話やスマートフォンの使用に関しては、原則各校やチームのルールに従うものとする。

7. 飲食

- ① 水筒を持参させ、ジュース類・菓子類の購入や持ち込みは行わないこと。
- ② ペットボトルについては、個人および学校の責任において必ず持ち帰ること。

- ③ 熱中症対策として、スポーツドリンクや塩タブレット等の持参を推奨する。
- ④ 昼食は、引率者が見渡せる場所でとり、ゴミは必ず持ち帰ること。

8. 会場使用

- ① 校舎内等への立ち入りは禁止する。上履き・下履きの区別をはっきりさせる。使用した用具、会場の後片付けを確実に行う。
- ② 各会場における役員、審判、応援等の駐車は所定の駐車場とする。送迎のための路上駐車は禁止とする。各校で保護者への連絡をしておく。

9. トラブル

- ① 関係校と本部（会長・理事・競技委員長・会場責任者・専門部長）とで協議する。
- ② 暴力行為（応援者も含む）があった場合は、自発的に試合を辞退することを生徒に徹底させておく。

10. 協力体制

関係校は、自校のみにとらわれず最後まで十分協力し合って大会の成功を図る。

11. 事後指導

報告会を行い、参考事項を中体連に連絡する。

令和7年度 鳥羽志摩中学校体育連盟 新人大会【大会長・養護一覧】

競 技	会 場	期 日	大 会 長	養 護
野 球	長沢球場	9/21（日）	橋本 さゆり	廣川 遥
	磯部ふれあい公園	9/27（土）	高岸 三枝	安部 真由
サッカー	鳥羽東中学校グラウンド	9/21（日）	竹村 速視	剣山 真奈美
女子バレーボール	鳥羽市民体育館	9/27（土）	谷口 三津夫	堤 香織
バスケットボール	鳥羽市民体育館	9/21（日）	山下 幸也	福本 晶
男子ソフトテニス	阿児ふるさと公園	9/20（土）	大木 信幸	郷 さほ
女子ソフトテニス	阿児ふるさと公園	9/20（土）		
		9/21（日）	小林 和浩	堤 淑
女子卓球	文岡中学校体育館	9/21（日）	千草 義輝	伊藤 ゆかり
男子卓球	磯部ふれあい公園	9/21（日）	大主 孔明	大畑 美幸
バドミントン	鳥羽市民体育館	9/20（土）	助田 宏樹	竹内 洋子
柔 道	鳥羽市武道館	9/20（土）	橋本 さゆり	廣川 遥
剣 道				

※雨天等で大会が延期の場合、大会長もスライドしていく。しかし、養護については、『年間分担表』をもとに順延日の担当を決めていく。

医療機関等 連絡先一覧

一次対応				
志摩市	日比クリニック	外科 内科 他	9:00~12:00 / 15:00~18:00	0599 55-0218
			木・土 9:00~12:00	
			休診日 日曜日	
	いしがみ整形外科	整形外科 他	9:00~12:00 / 14:30~18:00	0599 52-0003
			土 9:00~12:00	
			休診日 木・日曜日	
	おかむらクリニック	外科 内科 他	8:30~12:00 / 15:00~18:30	0599 44-2828
			水・土 8:30~12:30	
			休診日 木・日曜日	
	齋木内科	内科 他	9:00~12:00 / 15:30~18:30	0599 43-2491
			土 9:00~12:00 / 15:30~17:30	
			休診日 木・日曜日	
	おかむね医院	内科	9:00~12:30 / 15:00~18:00	0599 55-3333
			木 9:00~12:00	
			休診日 日曜日	
	志摩市 休日夜間 応急診療所		日・祝 9:30~12:00 / 13:30~15:30 夜間 19:30~21:30	0599 43-5899
鳥羽市	山崎整形外科	整形外科 他	9:00~12:30 / 15:00~18:00	0599 26-4131
			土 9:00~12:30 / 14:00~17:00	
			休診日 木・日曜日	
	鳥羽市 休日夜間 応急診療所		日・祝 9:30~11:30 / 13:00~15:30 夜間 19:30~21:30	0599 25-1119
二次対応				
志摩病院 0599-43-0501				
救急医療情報センター 059-229-1199				

※ 急を要する場合は、救急車を要請してください。
 症状にもよりますが頭部及び頸部の損傷の場合は原則、救急車で搬送してください。

令和7年度 鳥羽志摩中学生新人大会 野球の部 要項

1. 期日及び会場

- ◇ 第1日目：9月21日（日）・・・長沢球場（N）
- ◇ 第2日目：9月27日（土）・・・磯部ふれあい公園野球場（I）
- ※予備日：9月28日（日）【会場I】、10月4日（土）【会場N】

2. 使用球

＊公認ナガセケンコーM号（1試合につき各校3球提出）

3. 責任者

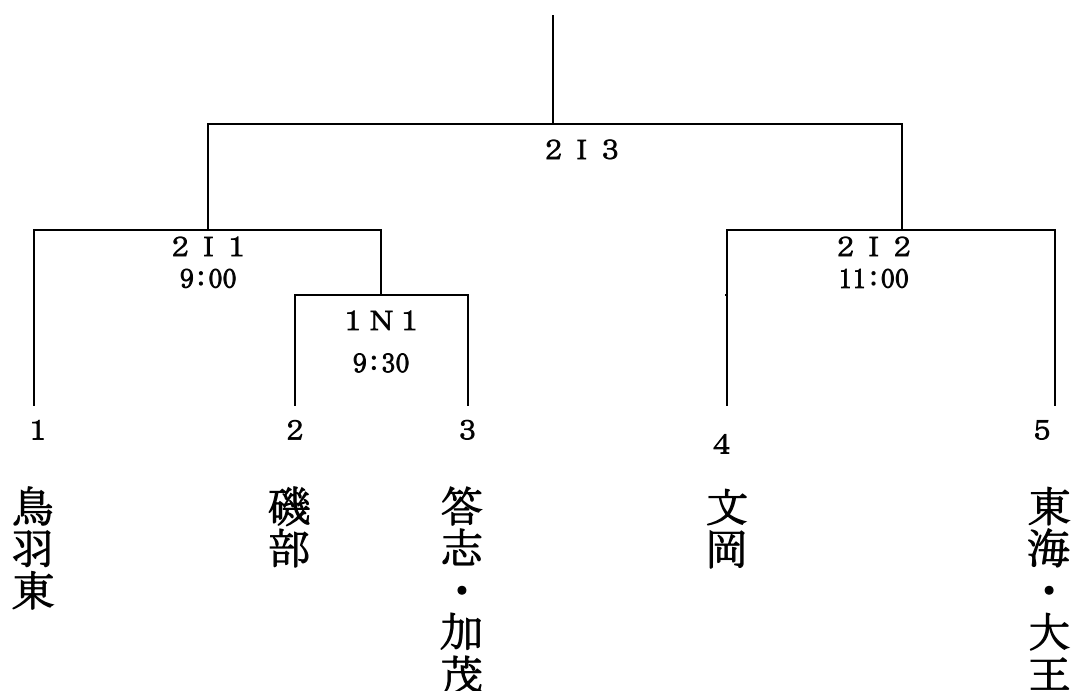
- 1日目 大会長（橋本【答志】）、救護（廣川【答志】）
会場（石本【磯部】）、記録・競技（三浦【鳥羽東】）
- 2日目 大会長（高岸【東海】）、救護（安部【東海】）
会場（石本【磯部】）、記録・競技（三浦【鳥羽東】）、弁当（岡部【大王】）

4. 競技規定及び申し合わせ事項

- (1) トーナメント方式とする。組み合わせは別記の通り。
- (2) ルールは、2025年度公認野球規則とするが、5.10(d)と5.10l-(2)は除外する。
 - ※5.10(d)：投手は同一イニングに投手以外の守備に2度以上つくことは許されない。
 - ※5.10l-(2)：監督またはコーチが、1イニングに同一投手のもとへ2度目に行けば、その投手は自動的に試合から退かなければならない。
- (3) 各試合7回戦。得点差によるコールドゲームは、2回20点差、3回以降15点差、5回以降7点差とする。（決勝戦も適用する）
 - ※日没・降雨・雷などによるコールドゲームは、5回以降に適用し、イニングの終了時に適用する。その時点で勝敗の決しない時またはそれ以前の場合は、特別継続試合（サスペンデッドゲーム）とする。
 - ※定期船への乗船時刻、選手の帰宅時間により試合を中断しなければならないときは、特別継続試合（サスペンデッドゲーム）とする。決定は中体連本部・大会長・専門部長・審判団の協議により決定する。
- (4) 本大会においては、指名打者(DH)をおいても構わない。詳しいルールについては本要項の末尾に記載。
- (5) 7回で勝敗の決しないときは、8回よりタイブレーク（無死一・二塁・継続打順）を行う。9回を終了して決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。ただし、準決勝戦は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
 - ※抽選方法は、審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが終了挨拶の状態に整列し、○印、×印各9枚、18枚の封筒を球審が先攻チームより一枚ずつ交互に選ばせる。二人の審判員が両チームの監督立ち合いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。
- (6) 球審の試合開始の合図から、1時間30分を超えて新しいイニングには入らない。ただし、同点の場合はタイブレークを最大2回まで実施し、それでも同点の場合は抽選とするが、準決勝戦は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
- (7) 抗議は一切認めないが、監督と当該プレーヤーのみ説明を求めることができる。
- (8) 監督は当該校の教員、コーチは当該校の教職員及び学校長が認めた継続指導をしているコーチとする。
- (9) ベンチは若番を1塁側とし、ベンチ入りはスコアラーを含めて25名以内とする。
- (10) 試合出場人数は、背番号をつけている18名以内とする。
- (11) ベンチ入りの顧問は学校関係者4名以内とする。（監督は背番号「30」をつける。）
 - ＊選手、監督、コーチは同色、同形、同意匠のユニフォームを着用することが望ましい。
 - ＊コーチも29、28番を可能であればつける。
- (12) 第1試合の打順表交換、攻守の決定等は、試合開始予定時刻の40分前とし、第2試合以降は前試合の4回裏終了後を基本とする。（打順表は4部提出すること）

- (13) シートノックは後攻から始めて5分以内とする。ダートサークルに入る補助員はユニフォーム着用(練習用可)のうえ、必ずヘルメットを着用する。相手チームのノック中は、危険防止のためベンチから出ない。ただし、ブルペンでの投球練習は除く。(捕手は必ずレガース・プロテクター・マスク・捕手用ヘルメット・ファールカップを着用すること。投手が守備練習のためにマウンド付近を使用することを禁止する。)
- (14) 捕手は、プロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・スロートガード・ファールカップ、打者・次打者・走者・およびランナーコーチは、両耳ヘルメットを着用する。
- (15) 次打者はネクストバッターズサークルに入り、サークル内へは試合で使用できるバット1本しか持ち込まない。
- (16) マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボールなど試合で使用しない物の球場内への持ち込みは禁止する。
- (17) リストバンド、ハイカットストッキング、エルボーガード等の使用を禁止する。ただしサポーター(手首や指を固定・保護する目的の物)の使用は医療目的に限り試合前に大会本部に申し出て許可を得ることとする。
- (18) 本大会の優勝・準優勝の2チームは、第17回全日本少年春季軟式野球大会三重県予選大会に鳥羽・志摩代表として出場する。※表彰については、1位1校、2位1校とする。優勝チームには優勝旗と賞状1枚、準優勝チームには賞状1枚を授与する。
- (19) メガホンは、ベンチに1個持ち込むことができ、監督のみが使用できる。
- (20) 投手の投球数制限については、1日100球、1週間350球までとする。ただし、試合途中で投球数制限に達した場合、制限に達した時の打者までは投球が認められる。ダブルヘッダーの場合は、打順表交換時に必ず、前の試合に登板した全ての投手の投球数を報告する。
- (21) 攻守交代の際に控え選手がベンチを出て守備練習を見守ることを禁止する。
- (22) 投手の準備投球に合わせて、先頭打者はネクストバッターズサークルで素振りをする事ができる。ただし、他の選手がベンチを出て素振りをする事は禁止する。
- (23) 攻守交代時の準備投球で、控え選手等が準備投球を捕球する場合は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球する。(出場している内野手可)

5. 組み合わせ N：長沢球場 I：磯部ふれあい公園野球場



6. 試合開始時刻

- 第1日目 【※ 開始式・・・9:00～】

第1試合 9:30

- 第2日目

第1試合 9:00

第2試合 11:00頃

第3試合 第2試合終了後40分後

7. 審判

- 第1日目

1N1 (1・4・5)

- 第2日目

2I1 (1N1敗・4・5)

2I2 (1・2・3)

2I3 (決勝戦該当チーム以外で)

※ 審判の足りない部分は外部審判が入る。

8. その他

- (1) 各会場とも毎日のゴミ処理・グラウンド整備は、最終チームが必ず担当する。
- (2) 審判は、試合の45分前には集合し、準備にあたる。
- (3) 大会長・養護の先生は8時30分までに球場に集合する。
- (4) サブグラウンドの使用の仕方や駐車場から球場への移動等、ルールとマナーに気を付ける。
- (5) 離島の選手が午前6時55分の定期船に乗船できない場合は順延とする。(午前6時30分くらいの決定になるので、各校待機等の準備をする。)
- (6) 学校数の減少により、運営等が厳しくなっている。1日目で敗戦しても2日目の運営に協力をする。
- (7) 各日程の2試合目の学校の先発投手は、前の試合の4回裏終了後、グラウンド内のブルペンでの投球練習ができる。ただし、試合中の学校の使用を優先する。投球練習の際は、スパイクを履くこと。捕手は、試合と同じ防具を着けて捕球する。
- (8) 開始式は、1日目に試合がある選手のみ参加する。
- (9) 試合開始予定時刻はあるが、天候等により、開始時間が早まる可能性があることを、保護者等に連絡する。
- (10) 専門部でも熱中症対策として氷等を準備するが、各校でも氷等の準備を万全にする。
- (11) 球場の観客席には日陰がないため、保護者・応援の方の熱中症対策として観客席に簡易テントを設営することを認める。ただし、プレーの妨げになる箇所への設営は認めない。ボールが当たるなどにより、テントが破損した場合においても、中体連は一切の責任を負わないことを周知徹底しておく。テントの移動の指示が中体連からあった場合は、速やかに移動する。
- (12) 熱中症に関しては十分に注意する。『事前に選手の健康チェックをし、必要に応じて保護者や医療機関と出場の可否を含めた相談をする』、『当日も適宜選手の健康チェックをし、健康上危険と判断されるときは顧問あるいは引率者の判断において棄権をし、医療機関へ移送する』ことについては選手および保護者の方に周知し、了承を得ておく。
- (13) 守備時間が長くなった場合(15分を目安とする)、選手の体調面を考慮し、給水タイムを設ける。決定については、大会長、救護、審判、専門部で行う。給水タイムについては1回5分を目安とする。
- (14) 熱中症対策については以下の通りとする。
 - ①活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)本部付近にて測定する。
 - ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
 - ③活動場所のWBGTが31℃以上の場合は、一時中断し、「中止」や「延期」又は「再開」することを検討する。
 - ④検討後、「再開」と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
 - ⑤熱中症警戒特別アラートが発表された場合は、大会を延期、又は中止する。
- (15) 落雷の予兆(雷鳴が聞こえる、稲光が見える、急に真っ黒な雲が近づいてくる、急に雨やあられが降ったりする等)があった場合は、速やかに活動を中断して、安全な場所に選手またはその関係者を

避難させる。

- (16) 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の天候情報を確認し、大会長・専門部長が大会を実施・延期・中止するかどうかを判断する。
- (17) 地震・津波・台風等の発表（注意報・警報）が発表された場合は、以下の①～③の安全対策に基づいて行動すること。
- ①大会開始前
- ・選手が在宅中の場合は、自宅にて安全を確保させる。午前6時の段階で発表されている場合は、大会を延期又は中止する。
 - ・会場への途上の場合は、速やかに帰宅する。なお、公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う。
- ②大会開催中
- ・直ちに競技を中止し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか等の状況判断は、大会本部が判断する。
 - ・津波注意報又は警報の発表が出された場合は、直ちに競技を中断し、高台（会場N：多目的広場、会場I：磯部ふれあい公園総合体育館）へと避難する。選手の保護者への引き渡しについては、地震や津波情報等に基づき、大会本部が判断する。
※津波注意報の場合は保護者の引き渡しを認めるが、津波警報の場合は、原則保護者への引き渡しは認めない。
- ③発表が解除された場合
- ・解除された場合であっても、交通機関、通信手段等の混乱が予想されるため、大会を延期又は中止する可能性もある。
- (18) 大会の終了時間については、選手等の安全面を考慮し、離島の選手が在籍する学校については、16時45分発の定期船に乗船可能な時間に、当該試合の進行を中断し、特別継続試合の措置をとる。また、それ以外の学校についても、選手の帰宅時間が17時00分を過ぎないように考慮し、当該試合の進行を終了し、特別継続試合の措置をとる。この措置が、予想される場合は（特に第三試合）、あらかじめ大会長・専門部で試合開始前に試合進行終了時刻（新しいイニングに入らない時刻）を決定しておく。

指名打者の取り扱いについて 5.11(a)(b)

連盟が主催する大会においては、指名打者ルールを使用することができる。

ただし、学童部・少年部は二刀流選手を採用しない。

(1) 指名打者ルールは、次のとおりである。5.11(a)

- ① チームは、投手に代わって打つ打者(指名打者)を指名することができる。
- ② 試合開始前に交換された打順表に記載された指名打者は、相手チームの先発投手に対して少なくとも1度は、打撃を完了しなければ交代できない。ただし、その先発投手が交代したときは、その必要はない。
- ③ チームは必ずしも指名打者を指名しなくてもよいが、試合前に指名しなかったときは、その試合で指名打者を使うことはできない。
- ④ 指名打者に代えて代打者を使ってもよい。その代打者は以後指名打者となる。退いた指名打者は、再び試合に出場できない。
- ⑤ 指名打者が守備についてもよいが、自分の番のところで打撃を続けなければならない。投手は退いた守備者の打撃順を受け継ぐ。ただし、2人以上の交代が行なわれたときは、監督が打撃順を指名しなければならない。
- ⑥ 指名打者に代えて代走者を使ってもよい。その代走者は以後指名打者となる。指名打者が代走者になることはできない。ただし、臨時代走者になることはできる。
- ⑦ 指名打者は、打順表の中でその番が固定されており、多様な交代によって打撃の順番を変えることはできない。

(2) 指名打者の役割が消滅する場合は、次のとおりである。5.11(a)

- ① 投手が他の守備位置についた場合。
- ② 代打者または代走者が試合に出場し、そのまま投手となった場合。

- ③ 投手が指名打者の代打者または代走者になった場合。
- ④ 打順表に 10 人のプレーヤーを記載したが、指名打者が特定されておらず、試合開始後にその誤りが球審に指摘され、投手が打撃順に入った場合は、投手が置きかわったプレーヤーは交代したとみなされ、試合から除き、それ以後指名打者の役割は消滅する。
- ⑤ 指名打者が守備位置についた場合。
- ⑥ 他の守備位置についていたプレーヤーが投手になった場合。

2025年度(令和7年度) 鳥羽・志摩中学校

新人大会(サッカーの部)要項

1. 日時 及び 会場

- ・ 2025年9月21日(日) 予備日9月27日(土)、28日(日)
- ・ 鳥羽東中学校グラウンド

2. 参加校 及び 試合球

- ・ 参加 2チーム(鳥羽東中 文岡中・CLUB志摩合同チーム)
- ・ 公認5号球(各チーム試合球1球を用意する)

3. 試合運営

- ・ 大会長: 竹村 速視 (大王) ・ 救護: 劔山 真奈美 (大王)
- ・ マッチコミッサー: 大東 健吾 (鳥羽東) ・ 式司会: 大東 健吾 (鳥羽東)
- ・ 審判長: 松井 暁彦 (Club志摩) ・ 会場: 渡辺 泰隆 (鳥羽東)
- ・ 記録: 渡辺 泰隆 (鳥羽東)
- ・ 競技: 大東 健吾 (鳥羽東)、渡辺 泰隆 (鳥羽東)
上村 徹 (文岡)
松井 暁彦 (Club志摩)、横内 亮太 (Club志摩)、西村 永 (Club志摩)

4. ルール 及び 申し合わせ事項

- ・ 現行の日本サッカー協会競技規則 および鳥羽志摩中体連サッカー専門部の申し合わせ事項による。
- ・ 最低試合参加人数は7名とする。
- ・ 試合開始前にWBGT値が31℃を超えている場合は、試合を延期する。
- ・ 積極的にクーリングブレイク(3分間)を採用する。WBGT値が28℃を超える場合はさらに、第二飲水(約1分)も採用する。クーリングブレイクでは選手全員をベンチに戻し、確実に休息させる。当日の天候によっては、ウォーターブレイク(1分間)のみになることもある。
- ・ 第二飲水時においても、体を冷やす目的でスポンジとタオルの使用を認める。ただし、ミスト(霧吹き)やひしゃく等で水をかけることは時間がかかってしまうので認めない。あくまでも第二飲水は給水の時間であり、作戦タイムではない。
- ・ クーリングブレイクは、ベンチに全選手が戻ってから3分。ハーフタイムは笛から笛で10分とする。
- ・ レガースは着用。装飾品は認めない。爪は切っておくこと。長い髪の毛はゴムで結びまとめること。
- ・ 大会登録人数は18名とし、選手の自由交代制を採用する。交代人数は7名までとする。
- ・ メンバー表は大会当日の担当者会議の時に提出する。選手交代は交代カードを提出して行う
- ・ 警告(累積)2回、及びレッドカードには退場処分とする。
- ・ 給水ボトルは、ソフトボトルに限る。感染症予防のため回し飲み等はしない。
- ・ 中体連で認められた外部コーチのベンチ入りを認める。ベンチ内は、監督1名、引率1名、コーチ1名までとする。(最大3名まで)ただしベンチから立って選手に指導できるのは1名のみ。校長・教頭は本部席とする。
- ・ アップはフィールド内で行う。

5. 試合について

対戦について

9:30～ 文岡中・Club志摩合同チーム 対 鳥羽東中

審判 主審（外部審判）副審（両チームから1名ずつ）

- * 試合時間は25分-10分-25分とする。延長戦は行わず、即PKとする。
- * ベンチは本部席から見て対戦表通りに左右に分かれること。
- * 試合開始時間5分前に、登録選手は審判チェックを受けるために本部前に背番号順に整列すること。

6. 表彰について

- ・ 表彰は優勝チームのみ（優勝旗1、賞状1）

7. その他

- ・ 開会式を9:00～行う
①大会長あいさつ ②優勝旗返還 ③審判長より ④会場校より ⑤選手宣誓
前年度優勝チーム：Club志摩Football
- ・ 選手宣誓：文岡中学校
- ・ 閉会式は試合終了後、すみやかに行う（①結果発表 ②表彰 ③大会長講評 ④会場校より）
- ・ ベンチは本部席から見て、対戦表通りに左右に分かれること。
- ・ 試合開始時刻5分前に、登録選手全員の審判チェックを行う。本部前にキャプテンを先頭にし、背番号順に整列する。控え選手はベンチに帰った後、ビブスを着用する。
- ・ 審判は審判服を着用する。
- ・ 各チームとも指定された場所に荷物を置く。ゴミは持ち帰る。
- ・ ピッチ上はもちろんベンチ内でも非スポーツ的言動のないように注意する。
- ・ 打ち合わせを8:30から本部役員テントで行う。（大会長、救護担当にも参加をお願いする）
- ・ 大会決行の判断は中体連本部により当日の6:00に行われる。
なお、天候（雷・濃霧）状況等により、6:30まで中止決定を延期する場合がある。
- ・ 保護者の応援等は会場内指定のローピングエリアで行い、プレー、ベンチの邪魔にならない場所とする。なお、プレー等に影響がある場合、マッチコミッサーが移動を指示する。選手の観戦についても指定のエリア内で行う
- ・ 学校関係者の写真撮影については、専門部の指示に従い、本部席または応援席からの撮影を認める。
- ・ 落雷の予兆があった場合、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所（鳥羽東中学校校舎内）に避難する。
- ・ 津波注意報または警報の発表が出された場合は、ただちに競技を中断し、高台へ避難する。会場の鳥羽東中学校は高台であるため、会場待機とする。

R 7 年 度 鳥 羽 志 摩 中 学 生 新 人 大 会 (バレーボールの部) 要 項

1. 日 時 : 9月27日(土) 予備日 10月5日(日)

2. 会 場 : 鳥羽市民体育館 開会式 9:20 (開場 8:00)

3. 使用球 : 人工皮革4号検定球カーボール(モルテン)

4. 責任者

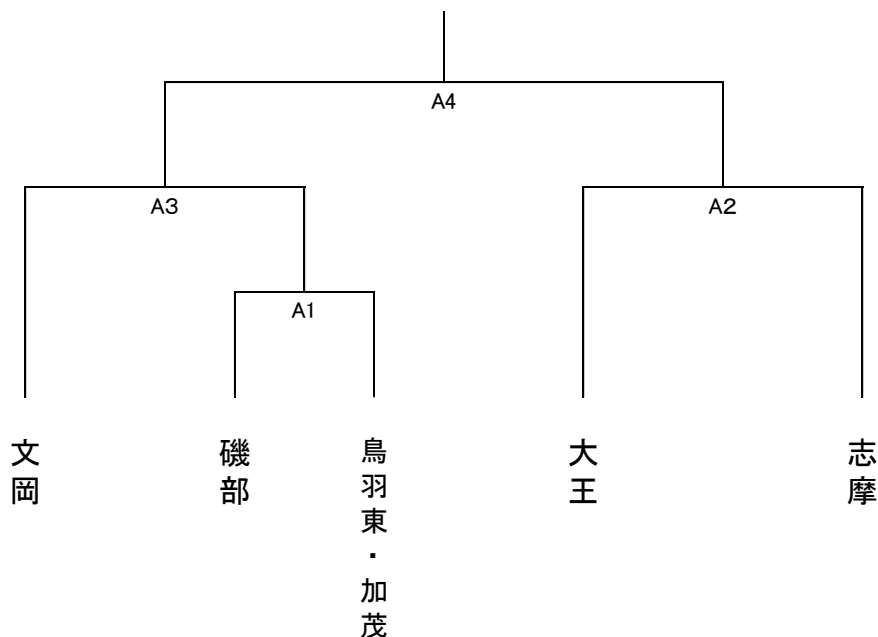
総務	競技	審判	会場	会長	養護	専門部長
上村 鳥羽東中	山本 磯部中	東 文岡中	上村 鳥羽東中	谷口 加茂中	堤 加茂中	上村 鳥羽東中

5. ルール : 2025年度(財)日本バレーボール協会制定の6人制規則に則る。

6. 熱中症対策: ・活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
 ・場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
 ・活動場所のWBGTが31℃以上の場合は、一時中断し、延期するか再開するかを検討する。
 ・検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。

7. 競技方法: ・全試合3セットマッチとし、トーナメント戦で行う。
 ・ベンチ入りは、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内とする。
 (必要に応じ、教育的な配慮とする。)
 ・監督、コーチは当該学校の教職員または部活動指導員とする。ただし、学校長が認めた外部コーチ(継続的に指導にあたり、教育的配慮のできる社会人)のベンチ入りを認める。マネージャーは当該学校の教職員・外部コーチまたは生徒とする。
 ・監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを所定(左胸)の位置に付ける。
 なお、監督、コーチは服装を統一することが望ましい。
 ・審判・ラインジャッジ・点示・記録・アシスタントスコアラーは審判の割り当て表の通りに行う。
 ・コートが濡れた場合は、基本的にコート内の選手がワipingをする。(タオルを持たせる。)モップが必要な場合は、副審の指示のもとベンチの選手で行う。
 ・試合(1F)終了後、5分間の合同練習を行う。その後にプロトコール。試合が連続するときは、15分試合間隔をあける。(10分コートをあけ、5分合同練習)
 ＊熱中症対策として、WBGTの数値や選手の状況を見て、試合間隔を25分とする場合がある。
 ・開閉会式においては、選手はユニホームで、その他の生徒はジャージで整列する。
 ・各セットのどちらかのチームが13点とったときと30対30になったとき、WTO(30秒)をとる。副審がシグナルなしで吹笛をする。速やかにウォームアップエリアに移動して給水する。

7. 組み合わせ：



8. 災害発生時の対応：

- ・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか等の状況判断を大会本部が行う。
- ・津波注意報又は警報の発表が出された場合は、ただちに競技を中断し高台（鳥羽東中学校）へ避難する。

9. その他：

- ・表彰は、優勝・準優勝（2枚）とする。
- ・急病やケガが発生した場合には、救護担当者が応急処置を施すが、その後は顧問や引率者で速やかに医療機関へ移送等の対応をする。
- ・貴重品や荷物は各チームで責任を持って管理する。
- ・開会式閉会式を行う。開会式には全チームが出席すること。
- ・試合中の写真撮影については、ステージと応援席からのみとし、フェンス内のフロアから、試合中の撮影をすることを禁止する。
- ・大会前に地震、津波、台風等の警報や注意報が出された場合、鳥羽市定期船菅島航路が運休や朝のみの一時運休の場合は、大会を延期する。その際、大会本部により6：00～6：30の間での判断とし6：30に各校に連絡をする。
- ・会場への移動時間帯に雷注意報が出ていたり、落雷の予兆があったりした場合は、危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に選手または関係者を待機、避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。

令和7年度 鳥羽志摩中学生新人体育大会 バスケットボールの部

- 1 期日・会場 9 月 21 日（日） 鳥羽市民体育館
 開 場 8：00
 大会役員集合 8：30
 開会式 8：40
 競技開始 9：00

- 2 使 用 球 男子 7号革ボール（各チーム持ち寄りで行う）
 女子 6号革ボール（各チーム持ち寄りで行う）

- 3 各係分担 大会会長 山下 幸也 （鳥羽東 中）
 救 護 福本 晶 （鳥羽東 中）
 会場責任者 川添 直哉 （鳥羽東 中）
 競技責任者 里中 拓馬 （磯部 中）
 審 判 長 里中 拓馬 （磯部 中）
 公式委員 谷口 真央 （志摩 中）
 弁 当 係 山崎 雄也 （東海 中）

- 4 ルー ル 2025～ 日本バスケットボール協会競技規則による。
 試合時間は以下の通りとする。
 7分－（2分）－7分－（10分）－7分－（2分）－7分

- 5 表 彰 男子については、優勝チーム・準優勝チームをそれぞれ表彰する。
 女子については、優勝チームのみ表彰する。

- 6 そ の 他
 - （1） 組み合わせ表において左側のチームが淡色のユニフォームを着用し、オフィシャル席から見て左側のベンチを使用する。
 - （2） チームは、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手18名以内とする。
 なお、外部コーチは、学校長の承認を得ているものとする。
 - （3） 選手宣誓は、東海 中学校が行う。
 - （4） 駐車場については、指定された場所を使用するものとする。
 - （5） 濃霧等により、開会式の時間が変更になる場合がある。（6時30分の段階で判断し、開始時間等については専門部で決定するものとする）

7 災害時の対応

地震、津波、台風等の注意報・警報が出された場合は、以下の安全対策に基づいて行動すること。

(1) 大会開始前

- ・在宅中の場合には、自宅にて安全を確保する。午前6時の段階で発表されている場合は、その日の競技はすべて延期又は中止とする。
- ・会場への途上の場合には、速やかに帰宅する。なお、公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う。

(2) 大会開催中

- ・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか等の状況判断は、各競技の大会本部が行う。

- ・津波注意報又は警報の発表が出された場合は、ただちに競技を中断し、高台へと避難する。生徒の引き渡しについては、地震や津波情報等に基づき、大会本部が判断する。

- ※津波注意報の場合は、保護者への引き渡しを認める。津波警報の場合は、原則保護者への引き渡しは認めない。

(3) 発表が解除された場合

- ・解除された場合であっても、交通機関、通信手段等の混乱が予想されるため、大会を延期又は中止する可能性もある。

(4) 報告

- ・専門部委員長は、大会の実施、中止、延期等について中体連事務局に報告を行う。

8 落雷事故防止について

- (1) 落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中断し、危険性が無くなると判断されるまで、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。

※落雷の予兆

雷鳴が聞こえる ・稲光が見える ・急に真っ黒な雲が近づいてくる 等

- (2) 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し、大会を中断するかどうか判断する。

- (3) 落雷による事故を未然に防ぐために、事前に情報収集する。

- ・前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）

- ・活動場所と避難場所の位置確認

9 熱中症対策

- (1) 熱中症は未然に防止できることや、生徒の健康や生命に甚大な影響を与えることを、学校及び指導者が十分に認識した上で指導に当たるものとする。

- (2) 学校及び指導者は、生徒の健康管理を適宜適切に行い、一人一人の状況に応じて必要な対策を個人に講じるとともに、プリント等を活用して生徒・保護者にも繰り返して注意を喚起する。

- (3) 各専門部に熱中症対策費を支給し、氷やスポーツドリンク等の準備をする。また、各校の顧問は、参加生徒の体調把握に努め、適切な休憩や塩分・水分補給を促すとともに、熱中症対策として必要な物品を準備する。（経口補水液、体温計等）

- (4) 大会期間中、熱中症が疑われる症状が見られる参加者が発生した場合は、大会長、専門部長、養護教諭、該当校顧問が綿密に連携を取り、参加者の安全を最優先に考えた対応をとる。（6）活動場所のWBGT値を定期的に（1時間に1回程度）測定する。

- (7) 場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。

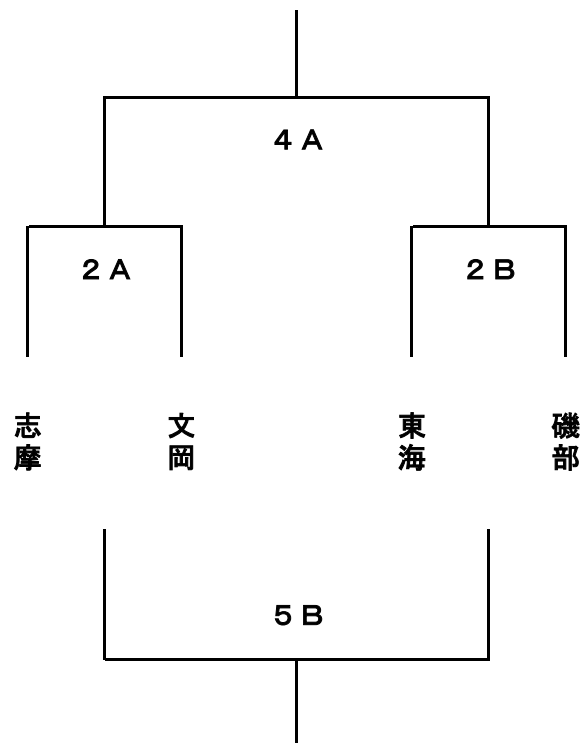
- (8) 活動場所のWBGT値が31℃以上の場合は一時的に中断し、延期又は再開する等を検討すること。再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように十分に注意する。

10 写真撮影等

校長、教頭、学校代表者が応援や写真撮影で会場を訪れる際は、大会の本部席又は応援エリアとする。また、写真撮影を行う際は、専門部の指示（各競技の要項に記載）に従い、競技の妨げとならないように配慮すること。

1 1 組み合わせ

< 男子の部 >



< 女子の部 >

	鳥羽東	文 岡	東 海
鳥羽東		5 A	1 A
文 岡	5 A		3 A
東 海	1 A	3 A	

勝ち数が同じ場合は、得失点差によって
順位を決定するものとする。

1 2 審判・T.O割り当て

	1 9 : 0 0	2 1 0 : 1 5	3 1 1 : 3 0	4 1 2 : 4 5	5 1 4 : 0 0
A	鳥羽東 — 東海	志摩 — 文岡	文岡 — 東海	2A勝 — 2B勝	鳥羽東 — 文岡
	T.O 前半 志摩 後半 文岡	T.O 鳥羽東(女子)	T.O 前半 2A負け 後半 2B負け	T.O 東海(女子)	2B勝
	谷口 (志摩)	岩谷 (協会)	里中 (磯部)	畑中 (協会)	里中 (磯部)
	田中 (志摩)	川添 (鳥羽東)	田中 (志摩)	岩谷 (協会)	山崎 (東海)
B	<コート使用> 前半 : 文岡 ・ 東海 後半 : 志摩 ・ 磯部	東海 — 磯部	<コート使用> 前半 : 2A勝 ・ 2B負 後半 : 2B勝 ・ 2A負	2A負 — 2B負	
		T.O 文岡(女子)		T.O 鳥羽東(女子)	
		畑中 (協会)		垣上 (協会)	
		垣上 (協会)		川添 (鳥羽東)	

令和7年度 鳥羽志摩中学生新人大会 ソフトテニスの部

1. 日時・会場

《男子》 9月20日(土) 学校対抗戦と個人戦【雨天順延】開会式 9:00
 《女子》 9月20日(土) 学校対抗戦 【雨天順延】開会式 9:00
 9月21日(日) 個人戦 【雨天延期 9月27日】開始式 9:00
 ※9月27日(土)以降の予備日 9月28日(日)・10月5日(日)
 ※波浪や濃霧等の影響で鳥羽の定期船が運航していない場合は、一旦6時に判断をするが、状況によっては6時30分まで待機の指示を出すことがある。
 10時までに全選手が会場に集まれないと判断した場合は、大会を延期する。
 男女会場：志摩市阿児ふるさと公園テニスコート
 ※10月5日(日)実施の場合・・・鳥羽市立鳥羽東中学校テニスコート

2. 責任者

1日目		2日目	
会 長	大木 信幸(志摩)	会 長	小林 和浩(文岡)
養護教諭	郷 さほ(志摩)	養護教諭	堤 淑(文岡)
競技責任者	濱野 勝弘(志摩)	競技責任者	濱野 勝弘(志摩)
会場責任者	前田 祐(文岡)	会場責任者	前田 祐(文岡)
審 判 長	橋爪 勇樹(鳥羽東)	審 判 長	濱野 勝弘(志摩)

※大会役員は8時30分までに会場に集合してください。

3. 大会要項

①ルール ソフトテニスハンドブックおよび三重県中学校参加規定に準ずる。

《試合中の助言》

・試合中の助言は、ベンチに入っている監督または外部指導者がチェンジサイズ時に、行うことができる。応援者からの助言は、サイドコーチとみなし、イエローカードの対象とする。

《中断・延期後の再開》

・天候その他の事情でマッチが一旦中止又は延期になった場合は、その後のポイントから引き続き再開することを原則とする。
 ・コートを変更し、又は後日再開する場合のサイドは、そのマッチでサイドを選択したペアが選ぶものとする。ただし、同日同一コートで再開の場合は中止前のままとする。

②災害時の対応

(1) 注意報や警報が出された場合は、以下の安全対策に基づいて行動する。

《大会開始前》

・在宅中の場合は、自宅にて安全を確保させる。午前6時の段階で発表されている場合は、延期又は中止とする。
 ・会場への途上の場合は、速やかに帰宅する。公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う。

《大会開催中》

・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、安全な場所に避難するか、帰宅させるか等の判断は、大会本部が行う。
 ・地震や津波情報(注意報・警報)、落雷の予兆があった場合は、避難場所(文岡中学校生徒玄関)に速やかに避難させる。
 ・解除された場合の再開・延期・中止の決定は大会本部で行う。その際、交通機関・通信手段の混乱が予想される場合は、大会を延期又は中止とする。

③熱中症対策

- (1) 活動場所のWBGTを定期的(1時間に1回程度)に測定する。
- (2) 場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
- (3) 活動場所のWBGTが31℃以上の場合は、一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
- (4) 検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
- (5) チェンジサービス・ファイナルゲームにおけるチェンジサイズ時に、審判台付近での給水を認める。
- (6) 気温が高くなって来た場合、ヒートルールを採用する。
- (7) クーリングスペースを作り、試合後・審判後に体を冷やすように促す。
- (8) 各校熱中症対策として、仮設テント・氷・経口補水液などを準備する。

④使用球 男子・女子とも：赤Mボール

⑤チーム編成 学校対抗戦・・・1校4ペア 個人戦・・・参加ペア数は下記のとおり

《男子》鳥羽東(10) 文岡(10) 浜島(2)

《女子》鳥羽東(9) 浜島(1) 文岡(9) 東海(9) 志摩(2)

- ⑥競技方法 学校対抗戦・・・男女ともリーグ戦（2面展開）
個人戦・・・男女ともトーナメント戦
※競技はすべて男子・女子とも7ゲームマッチとする。
※男子は団体戦の後に個人戦を行う。
※団体戦は、3ペアの対抗戦で、すべて行う。
- ⑦表彰 学校対抗戦・・・《男女とも》1位のみ(男女各1枚)
個人戦・・・男女とも3位まで表彰(男女各8枚)
- ⑧審判 学校対抗戦・・・男女とも対戦していない学校で行う。団体戦に出ていない選手の審判を認める。人数が不足する場合は、他校から審判を出してもらう。（ハードコートのラインズマンは対戦校で行う。）
個人戦・・・敗者審判とする。ただし、各コート第1試合は本部からの指定審判で行う。
※決勝は対戦校以外の顧問で原則審判を行う。
（正審・副審とも顧問が行う。）
- ⑨服装 選手は全員、ユニフォーム(または、学校指定の短パン・半そでシャツ)を着用し、ゼッケンを背中につける。シューズはテニスシューズとする。
- ⑩その他
- 選手宣誓 男子：鳥羽東中学校 女子：文岡中学校
 - 閉会式には入賞チームはできる限り参加すること。
 - 選手名簿(個人戦)提出締め切りは、9月16日(火)厳守
男女とも：濱野 勝弘 (志摩中学校)
 - 顧問もできる限り監督ゼッケンをつける。
 - 給水は水筒でし、ペットボトルの場合はホルダー等をつけること。
 - 学校関係者が写真撮影を行う場合は、フェンスの外から行う。フェンス内に入っている場合は、ベンチサイドを守り、生徒応援場所から行う。
移動については試合の妨げにならないように注意する。(ラリー中の移動は禁止する。)

4. 当日の仕事分担

《1日目》司会(大形) 会場注意(濱野) 競技注意・審判長(橋爪) 賞状(藤井) 記録速報(濱野)
進行(各顧問) 審判員(顧問全員) ※弁当は各自で準備

《2日目》司会(人見) 会場注意(濱野) 競技注意・審判長(濱野) 賞状(中村) 記録速報(濱野)
進行(各顧問) 審判員(顧問全員) ※弁当は各自で準備

5. 練習場所・時間配当

日	時間	1コート	2コート	3コート	4コート	5コート
20 土	8:10~8:30		文岡男子	文岡男子	文岡女子	
	8:35~8:55	浜島男子	鳥羽東男子	鳥羽東男子	鳥羽東女子	東海
21 日	8:10~8:30	浜島	文岡	文岡		
	8:35~8:55	志摩	東海	東海	鳥羽東	鳥羽東

6. 組み合わせ

競技開始予定 1日目 9:00 2日目 9:00
競技終了予定 1日目 男子15時 女子13時 2日目 15時

<男子団体> リーグ戦(2面展開)

	文岡	鳥羽東	浜島
文岡		①	③
鳥羽東			②
浜島			

※2・3コート

<女子団体> リーグ戦(2面展開)

	鳥羽東	文岡	東海
鳥羽東		①	③
文岡			②
東海			

※4・5コート

<男女個人戦>

- *個人戦の組み合わせは、鳥羽志摩中学生新人ソフトテニス選手権大会の結果をもとに行い、当日発表する。
- *1日目の男子個人戦は団体戦終了後、空いたコートから開始する。

2025 年度鳥羽志摩中学校新人大会「女子卓球」の部

1 会場・開催日時

9月21日(日) 文岡中学校 体育館 (0599-43-0047)

開館 8:30 開会式 9:30 競技開始 9:45 (団体戦・個人戦)

*予備日 9月27日(土) (文岡中学校体育館)

*地震・台風・雷等に対する安全対策が必要な場合や公共交通機関の遅れ等が発生した場合は、延期や開始時刻を遅らせる等の判断を鳥羽志摩中体連本部と協議の上行う。その際6:30まで決定に時間がかかる場合がある。

*顧問会議(大会長・養護を含む)を9:15から行う。

*練習開始は、出場校がすべてそろってからとする。

2 使用球 Nittaku スリースター(ホワイト) 40mm

3 責任者

大会長 千草 義輝(神島中) 審判長 鈴木 紗織(志摩中)
競技責任者 西尾 聡子(大王中)
会場責任者 堀口 歩美(文岡中) 養護 伊藤ゆかり(神島中)

4 ルール 日本卓球協会競技規則に準ずる。

5 申し合わせ事項

【団体戦】

- ・学校対抗(各校1チーム)とする。
- ・すべて5番まで試合を行う。結果は3点先取で記録する。
- ・3校によるリーグ戦 ※リーグ戦の試合順は抽選によって決定する
- ・1チーム6名(登録8名)で構成し、1・2・4・5番がシングルス、3番がダブルスの3点先取法で行う。試合ごとにオーダーを作成し、本部に提出する。
※同一チームに3名以上選手がいる場合は出場を認める。5名以下の場合は、原則上の番手から順に空欄としてオーダーを提出する。
- ・すべての試合を5ゲームマッチで行う。
- ・審判は原則対戦校から出す。

【個人戦】

- ・出場人数は、各学年制限を設けないものとする。
- ・すべての試合を5ゲームマッチで行う。
- ・シードは各校の1番手とし、シードの位置は抽選とする。個人トーナメントは試合当日に発表する。

6 個人戦選手申込

個人戦に出場する選手名を、9月12日(金) 17:00までに電子メールなどで連絡すること。

女子トーナメント作成 → 女子: 池田先生(東海中) t-ikeda-haruhito@edu.city.shima.mie.jp

↓学校名

↓名前

	A	B
1	(神島)	吉村 和弘
2	(神島)	宇田 幸矢

※1から強者順で入力してください

※エクセルファイルを作成して送ること。ファイル名は「〇〇中・女子名簿」とすること。

※作成していただいたトーナメントは、9月18日(木)までに鳥羽東中・専門部長野村まで送ること。

※ 文岡中・堀口先生 が試合当日に「エントリー数+20部」を印刷して会場へ持っていくこと。

- 7 服装 日本卓球協会検定ユニフォーム、または鳥羽志摩中体連卓球専門部が認めた服装で競技を行う。
また、背中にはゼッケン（25×18cm）を必ず付けること。
- 8 表彰 団体戦は優勝のみ、個人戦はベスト4まで表彰する。 表彰状の枚数：団体戦用1枚、個人戦用4枚
- 9 組合せ 【団体戦】3校（大王、文岡、志摩）によるリーグ戦
◇リーグ戦進行（3台並行で行う）

試合	
1	大王 × 志摩
2	文岡 × 志摩
3	大王 × 文岡

【個人戦】 ・トーナメント戦で行う。トーナメントは当日発表する。

10. 熱中症対策について

- ①活動場所のWBGTを定期的に（1時間に1回程度）測定する。
- ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③活動場所のWBGTが31℃以上の場合は一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
- ④検討後再開と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
- ⑤熱中症特別警戒アラート等が発表された場合は、延期とする。

11. 落雷事故防止について

- ・帰宅時に落雷の予兆があった場合は、危険性が無くなると判断されるまで安全な場所に選手またはその関係者を避難させる、どの時点で解散するか等の状況判断を大会本部で実施する。

12. 写真撮影について

- ・写真等の撮影は観客席のみとする。なお撮影する際は、フラッシュなどが点灯しないように留意する。（フラッシュやライトの点灯はプレーの妨げになる）
- ・学校関係者による撮影は観客席、または本部席とする。

13. 災害発生時の対応について

- ・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか等の状況判断を大会本部で実施する。
- ・津波注意報又は警報の発表が出された場合は、ただちに競技を中断し高台へ避難する。その際の避難場所は、磯部ふれあい公園体育館とする。

14. その他

- ・促進ルール、タイムアウト制を実施する。
- ・外履き靴を入れるための袋を用意すること。
- ・弁当は個人管理とする。
- ・駐車場は各中学校体育館前の駐車場を使用すること。路上駐車は行わない。
- ・開会式での優勝旗返還を行う。（女子は文岡中学校）

15 練習コート

1	2	3	4	5
浜島	大王	志摩	文岡	文岡

※会場校や会場準備の状況により、変更となる可能性があります。

2025 年度鳥羽志摩中学校新人大会「男子卓球」の部

1 会場・開催日時

9月21日（日） 磯部ふれあい公園 体育館 （ 0599-55-3345 ）

開館 8：30 開会式 9：30 競技開始 9：45（団体戦→個人戦）

※予備日 9月27日（土）（磯部ふれあい公園体育館）

※地震・台風・雷等に対する安全対策が必要な場合や公共交通機関の遅れ等が発生した場合は、延期や開始時刻を遅らせる等の判断を鳥羽志摩中体連本部と協議の上行う。

その際6：30まで決定に時間がかかる場合がある。

※顧問会議（大会長・養護を含む）を9：15から行う。

※練習開始は原則出場校がそろい次第とする。

2 使用球 Nittaku スリースター（ホワイト）40mm

3 責任者 大会長 大主 孔明（浜島中） 審判長 森本 裕士（志摩中）
競技責任者 野村 貴裕（鳥羽東中）
会場責任者 池田 春仁（東海中） 養護 大畑 美幸（浜島中）

4 ルール 日本卓球協会競技規則に準ずる。

5 申し合わせ事項

【団体戦】

- ・学校対抗（各校1チーム）とする。
- ・6校によるリーグ戦（3校ずつ）と決勝トーナメントを行う。
※予選リーグの組み合わせは抽選によって決定する。
- ・1チーム原則6名（登録8名）で構成し、1・2・4・5番がシングルス、3番がダブルスの3点先取法で行う。試合ごとにオーダーを作成し、本部に提出する。
※同一チームに3名以上選手がいる場合は出場を認める。5名以下の場合は、原則上の番手から順に空欄としてオーダーを提出する。
- ・予選リーグは3ゲームマッチ、決勝トーナメントは5ゲームマッチで行う。
- ・審判は原則対戦校から出す。

【個人戦】

- ・出場人数は、各学年制限を設けないものとする。
- ・個人戦の試合はすべて5ゲームマッチで行う。
- ・シードは各校の1番手とし、シードの位置は抽選とする。個人トーナメントは試合当日に発表する。

6 個人戦選手申込

個人戦に出場する選手名を、9月10日（金）17：00までに電子メールなどで連絡すること。

男子トーナメント作成 → 男子：西尾先生（大王中） t-nishio-satoko@edu.city.shima.mie.jp

↓学校名

↓名前

	A	B
1	（神島）	吉村 和弘
2	（神島）	宇田 幸矢

※1から強者順で入力すること。

※エクセルファイルを作成して送ること。ファイル名は「〇〇中・男子名簿」とすること。

※作成していただいたトーナメントは、9月18日（木）までに鳥羽東中・専門部長野村まで送ること。

※専門部長が試合当日に「エントリー数+20部」を印刷して会場へ持っていくこと。

7 服装

日本卓球協会検定ユニフォーム、または鳥羽志摩中体連卓球専門部が認めた服装で競技を行う。
また、背中にはゼッケン（25×18cm）を必ず付けること。

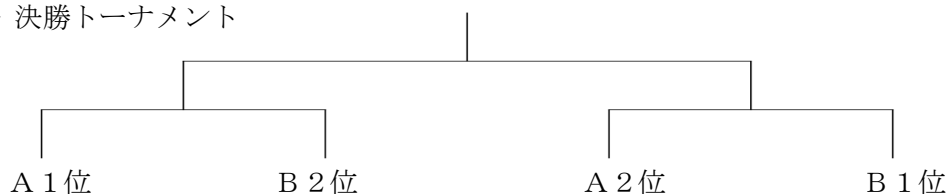
8 表彰

団体戦は2位までとし、個人戦はベスト4まで表彰する。
表彰状の枚数：団体戦用2枚、個人戦用4枚

9 組合せ 【団体戦】 志摩、東海、大王、浜島、鳥羽東、文岡 ◇予選リーグ

試合	A リーグ	B リーグ
1	志摩 × 大王	浜島 × 文岡
2	東海 × 大王	鳥羽東 × 文岡
3	志摩 × 東海	浜島 × 鳥羽東

◇ 決勝トーナメント



【個人戦】 ・トーナメント戦で行う。トーナメントは当日発表する。

10. 熱中症対策について

- ①活動場所の WBGT を定期的に（1 時間に 1 回程度）測定する。
- ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③活動場所の WBGT が 31℃以上の場合は一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
- ④検討後再開と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
- ⑤熱中症特別警戒アラート等が発表された場合は、延期とする。

11. 落雷事故防止について

- ・帰宅時に落雷の予兆があった場合は、危険性が無くなると判断されるまで安全な場所に選手またはその関係者を避難させる、どの時点で解散するか等の状況判断を大会本部で実施する。

12. 写真撮影について

- ・写真等の撮影は観客席のみとする。なお撮影する際は、フラッシュなどが点灯しないように留意する。（フラッシュやライトの点灯はプレーの妨げになる）
- ・学校関係者による撮影は観客席、または本部席とする。

13. 災害発生時の対応について

- ・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか等の状況判断を大会本部で実施する。
- ・津波注意報又は警報の発表が出された場合は、ただちに競技を中断し高台へ避難する。その際の避難場所は、磯部ふれあい公園体育館とする。

14. その他

- ・促進ルール、タイムアウト制を実施する。
- ・外履き靴を入れるための袋を用意すること。
- ・駐車場は磯部ふれあい公園駐車場とする。路上駐車はしないこと。
- ・開会式での優勝旗返還を行う。（男子は文岡中学校）
- ・弁当は個人管理とする。

15. 練習コート

＜本部席＞

6	浜島	1	志摩
7	鳥羽東	2	志摩
8	文岡	3	東海
9	フリー	4	東海
10	フリー	5	大王

＜スタンド・入口＞

16. 観客席割りあて

鳥羽東	文岡	東海	東海	階段	志摩	志摩	浜島	大王
1	2	3	4		5	6	7	8

※フロアから見た配置。

※保護者や学校関係者は、両サイドの通路にある座席を使用。

2025年度 鳥羽志摩中学校新人大会 バドミントンの部

1. 日時 2025年9月20日(土) ※予備日9月28日(日)
- 公式練習 8:20 ~ 8:35 (鳥羽東・答志・鳥羽JBC)
- 8:35 ~ 8:50 (磯部・文岡)
- 開会式 9:00 ~ 試合開始 9:15 ~
- ※8:40より全員で打ち合わせを行うので、本部前に集合する。(大会長・養護も含む)
- ※濃霧等により開会式の時間に変更になる場合がある。

2. 会場 鳥羽市民体育館(20日、28日ともに)

3. 担当 大会長 : 助田 宏樹 (磯部中学校長)
- 競技責任者 : 堤 大亮 (鳥羽東中学校)
- 審判長 : 藤原 喜一郎 (鳥羽JBC)
- 会場責任者 : 堤 大亮 (鳥羽東中学校)
- 進行・記録 : 各顧問
- 救護 : 竹内 洋子 (磯部中学校)

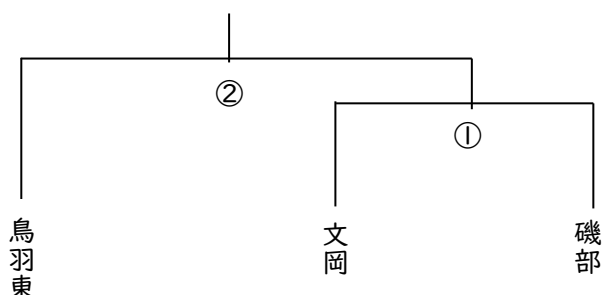
4. 競技方法

①団体戦

シングルス・ダブルスともに21ポイント3ゲームマッチ2ゲーム先取

※各試合は、2ダブルス・1シングルスで行う。どちらかが2試合先勝をしても、残っている試合の第1ゲームのみ実施する。

〈女子〉



②個人戦

- ・トーナメント方式で行う。(4人・4ペア未満の場合は総当たりで行う。)
- ・試合は全て21ポイント1ゲームマッチ(MAX30点、11点でチェンジエンド)
- ※シングルスとダブルス、兼ねてエントリーすることができる。

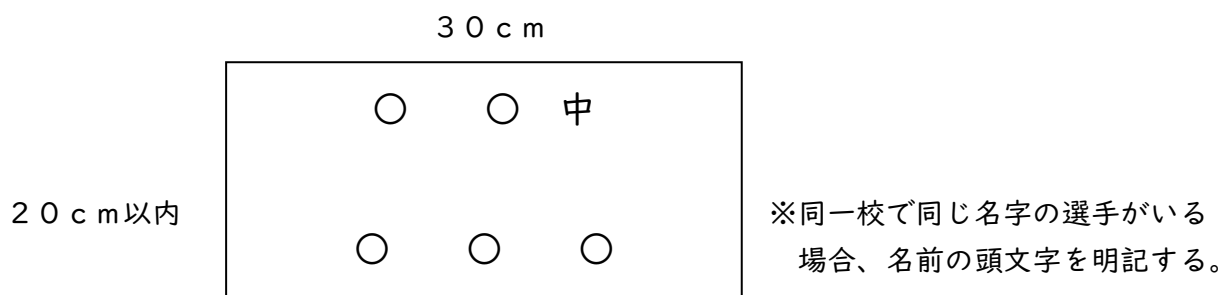
- ③進行 団体戦、個人戦(ダブルス→シングルス)の順で行う。

5. 使用シャトル ヨネックス AEROSENSA700 3番

※エントリー数による 1人～12人→1本 12人～24人→2本
25人～36人→3本

6. 服装 ユニフォームまたは体操服（ユニフォームが間に合わない場合は各学校の体操服）

※背中にゼッケンをつける



7. 表彰

団体 女子 優勝のみ（大1枚）

個人 男子 シングルスのみ3位まで（小4枚）

女子 シングルス・ダブルスともに3位まで（小12枚）

8. 開閉会式について

①開会式	司会	:	谷奥 浩子	(文岡中学校)
	大会長あいさつ	:	助田 宏樹	(磯部中学校長)
	競技について	:	堤 大亮	(鳥羽東中学校)
	審判について	:	藤原 喜一郎	(鳥羽 JBC)
	会場使用上注意	:	堤 大亮	(鳥羽東中学校)
	選手宣誓	:	鳥羽東中主将	

②閉会式	司会	:	谷奥 浩子	(文岡中学校)
	成績発表	:	大屋 真一	(磯部中学校)
	表彰・講評	:	助田 宏樹	(磯部中学校長)

9. 選手申し込みについて

メンバー表 締切：9月16日（火） 堤（鳥羽東 中）までメールで

10. その他

(1) 大会の開催について

- ・濃霧等により開会式の時間に変更になる場合がある。
→最大8:00まで待つこととする。
- ※定期船が欠航した場合は、予備日に延期する。

(2) 運営上の確認事項

- ・コール待ちの選手の待機場所は指示する。
- ・インターバル中のコートサイドでの給水を認める。トレイを利用する。
- ・試合中、声を出して指導できるのは監督とコーチのみとする。その際、プレーを遅らせることのないよう留意する。
- ・1年生の出場は各校判断とする。(ただし、出場させる場合は審判ができること)
- ・停電等により試合続行が不可能になった場合は、再試合とする。
- ・治療について5分間試合を中断し、治療しても回復しなければ棄権とする。

(3) 熱中症対策について

- ①活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
- ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③活動場所のWBGTが31℃以上の場合は一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
- ④検討後再開と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
- ⑤熱中症特別警戒アラート等が発表された場合は、延期とする。

(4) 落雷事故防止について

- ・帰宅時に落雷の予兆があった場合は、危険性が無くなると判断されるまで安全な場所に選手またはその関係者を避難させる、どの時点で解散するか等の状況判断を大会本部で実施する。

(5) 写真撮影について

- ・写真等の撮影は観客席のみとする。なお撮影する際は、フラッシュなどが点灯しないように留意する。(フラッシュやライトの点灯はプレーの妨げになる)
- ・学校関係者による撮影は観客席、または本部席(ステージ上)とする。

(6) 災害発生時の対応について

- ・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか等の状況判断を大会本部で実施する。
- ・津波注意報又は警報の発表が出された場合は、ただちに競技を中断し高台へ避難する。
その際の避難場所は、鳥羽市立鳥羽東中学校とする。

令和7年度 鳥羽志摩中学生新人大会 剣道の部

1. 日 時 令和7年9月20日(土) 予備日21日(日)

開 場 8:00

集 合 8:30

開会式 9:10 (柔道と合同開会式)

2. 会場及び責任者 鳥羽市武道館

大会長 橋本 さゆり(答志)

競技責任者 大矢 悠(鳥羽東) 会場責任者 吉岡 孝明(鳥羽東)

救 護 廣川 遥(答志)

3. 試合方法

- ・ 個人戦の予選リーグ戦、順位決定リーグ戦または順位決定戦を行う。3分3本勝負。3分で勝負が決しない場合は、2分間の延長戦を行う。それでも勝負が決しない場合は引き分けとする。
- ・ 順位の決定は、勝ち数、本数の順で決める。勝ち数、本数が同じ場合は、直接対決の勝者を上位とする。直接対決が引き分けの場合は、1本勝負の試合を行い、勝った方を上位とする。

※ 参加人数によって対戦方法を変更する場合がある(当日発表)。

4. 試合規定

- ・ 全日本剣道連盟試合、審判規則ならびに細則に準じ、三重県中体連剣道専門委員会申し合わせ事項に従って行う。

※ 面の乳皮(黒か紺)、つばの色(茶か白)等に気をつけること。

5. 表 彰

- ・ 出場者が8人以上は3位まで、7～4人は2位まで、3人以下は1名を表彰する。

6. 申し込み

- ・ 出場者の名前、学年、所属を9月17日(水)までに鳥羽東中学校 大矢まで報告する。

メール jtobahigashi00@toba.ed.jp

電話 0599-26-5001, 5002

FAX 0599-26-5012

7. 熱中症、災害対策等について

- ・ 離島の生徒が午前6時55分の鳥羽市営定期船に乗船できない場合は延期とする。
(午前6時30分くらいの決定になるので、各校待機等の準備をする。)
- ・ 熱中症対策について
 - ① 活動場所のWGBT値を定期的に(1時間に1回程度)測定する。
 - ② 場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
 - ③ 活動場所のWGBT値が31℃以上の場合は、一時中断し、延期又は再開する等を検討する。

⇒熱中症特別警戒アラートが発令された場合は延期とする。

再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更，クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際，選手にとって不利益とならないように注意する。

- ・ 落雷事故防止について

- ① 大会期間中（試合及び練習やその他に関わる活動を含む）に落雷の予兆があった場合は，速やかに活動を中断し，危険性が無くなると判断されるまで，安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等，安全確保を最優先事項として常に留意する。

⇒会場までの道中に気をつける。

- ※ 落雷の予兆

雷鳴が聞こえる，稲光が見える，急に真っ黒な雲が近づいてくる，急な雨やあられが降ったりする 等

- ② 大会当日に雷注意報が発表されている場合は，気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し，大会を中止するかどうか判断する。

⇒各自でも，家を出る際に注意する。危険であると判断した場合は，顧問や指導者等に連絡を入れること。

- ③ 落雷による事故を未然に防ぐために，事前に情報収集しておく。

- 前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）
- 活動場所と避難場所の位置確認

- ・ 津波が心配される場合は，大会長の指示のもと，鳥羽東中学校へ避難する。

8. その他

- ・ 開会式後，1階試合場には関係者以外は入らない。応援はギャラリーで行う。
- ・ ゴミは持ち帰る。
- ・ 竹刀の割れやささくれ，中結や弦の緩みなどないよう各自で整備しておく。
 - ※ 竹刀の重さは，男子440g，女子400g，長さは37の竹刀とする。
- ・ 学校関係者による写真撮影は，競技の妨げにならないように注意する。

令和7年度鳥羽志摩中学生新人大会 柔道の部

1 期 日 令和7年9月20日(土) 予備日21日(日)

※剣道と同日開催のため、剣道が延期の場合、柔道も合わせて延期となる(6:30 決定)。

開 場 8:00

集 合 8:30

開会式 9:10 (剣道と合同開会式)

2 会 場 鳥羽市武道館

3 責任者 大会長 橋本さゆり (答志中)

会場・競技責任者 吉岡 孝明 (鳥羽東中)

救 護 廣川 遥 (答志中)

4 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定・国内における「少年大会特別規定」による。

(2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。

・技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合で「指導」差が2以上開いたときは少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下のときは時間無制限のゴールデンスコア(GS方式)によって勝敗を決する。

※GS方式とは、先に「有効」以上の技による評価を得た試合者が勝ちとなり、「指導」をとられ、相手より指導の数が多くなった試合者が負けとなる。

(3) 試合時間は3分間とする。

5 競技方法

- ・男女とも個人戦で、体重無差別の総当たり戦を行う。
- ・本戦で勝敗が決しない場合はGS方式により勝敗を決する。

6 表彰

- ・出場者が8人以上の場合は3位まで、7～4人は準優勝者まで、4人未満は優勝者の表彰を行う。

7 柔道着について

規定にあった柔道着を着用する。

サイズは、横30～35cm、縦25～30cm

②名前(姓)は、上側2/3

③学校名は、下側1/3

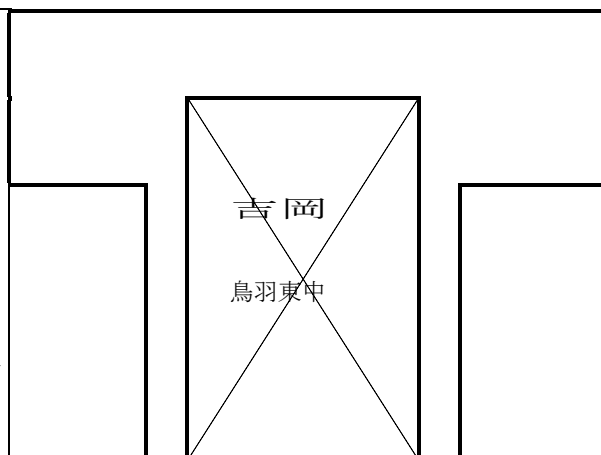
④書体は太字ゴシック体(明朝体も可)

男子は黒色、女子は赤色

⑤縫いつけ場所は後襟から5～10cm

下部の所で対角線にも糸で縫いつける

⑥女子の下着は白の無地丸首Tシャツとする(ワンポイント可)



8 申し込み

- ・出場者の名前を9月17日（水）までに鳥羽東中学校 吉岡に報告する。

メール jtobahigashi00@toba.ed.jp

電話 0599-26-5001, 5002

FAX 0599-26-5012

9 その他

（1）熱中症対策について

- ① 選手の状態に応じ、延長戦前や試合途中に水分補給の時間を確保する。
- ② 必要に応じて活動場所のWBGTを測定する。
- ③ 場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
- ④ 活動場所のWBGTが31℃以上の場合は一時的に中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
(熱中症特別警戒アラートの場合は延期とする)。
- ⑤ 検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。

（2）大会中津波が心配される場合は、大会長の指示のもと鳥羽東中学校へ避難する。

（3）落雷事故防止について

- ① 大会期間中（試合及び練習やその他に関わる活動を含む）に落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。
→ 会場までの道中に気をつける。
- ② 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し、大会を中断するかどうかを判断する。
→ 各自で家を出る際に注意する。危険であると判断した場合は、顧問や指導者に連絡を入れる。
- ③ 落雷による事故を未然に防ぐために、事前に情報収集しておく。
 - ・前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）。

※落雷の予兆

雷鳴が聞こえる・稲妻が見える・急に真っ暗な雲が近づいてくる、急に雨やあられが降る等

- （4）学校関係者の写真撮影については、2階観覧席や選手待機場所から行い、対戦中の選手の妨げにならないようにする。